

忘れられないあの日からのこと

人吉市立人吉西学校 6年 味岡 詩歩

平成28年4月14日、夕食をとり、翌日の遠足の準備をしていたら立ってられないほどの地震。すぐに、はいつくばってテーブルの下に隠れました。午後9時26分、熊本県熊本地方を震源とした、益城町で震度7を記録する大きな地震でした。熊本県と大分県を中心に九州全域で揺れは観測されました。その日少しの揺れ（余震）を感じながらも「これ以上、今より大きな地震はあるはずない。」と思って床につきました。

次の日、遠足から帰り宿題をし、夕食を食べ、お風呂に入って、居間でくつろいでいた私は、遠足の疲れから寝室には行けず、そのまま寝入ってしまいました。

夜中（16日午前1時37分）突然、とても大きな地震が発生。私は何が起こったのかわからず、地球が壊れるのかと思えるほどに目の前が揺れていて、怖くて、怖くて、母にしがみつき、うずくまっていました。携帯電話からは、けたたましく警報音が鳴っていました。同時に戸外からは、聞いたこともない不気味な音色の防災放送が流れていました。揺れが少しおさまったところで、駐車場に避難し、自家用車の中で数時間を過ごしました。

16日に発生した地震も最大震度7。14日に発生した地震よりも大きく、そして威力ある本震でした。

私が一番心配になったのは益城町に隣接する熊本市に住む祖父母の事でした。その日は怖くて寝る事ができませんでした。翌日から両親はおにぎりをたくさん作り、飲みものと一緒に持参しました。私の作ったおにぎりを祖母は「こんなにおいしいおにぎり食べた事がないよ。戦時中を思い出したよ。」と言っていました。被災地は過酷な状況でした。私達は熊本に行く度、支援物資を届けました。それから炊き出しボランティアをするようになりました。避難された方々に料理を手渡した際に涙された多くの方々、沢山の感謝の言葉を私は忘れる事ができません。

熊本地震から約2年が過ぎた今、熊本には少しずつ希望の光が見えてきていると思います。

私は熊本地震の後、九州北部豪雨災害での支援活動、東日本大震災被災地での支援活動を行いました。9月の連休には、家族で西日本豪雨災害被災地の広島県呉市で活動する予定です。

熊本地震では全国からのたくさんの励ましや応援をいただきました。少しでもその恩返しが出きればと、感謝の思いで復興支援活動をさせていただきます。私の住む熊本県を応援していただいた皆さんへ、感謝の思いを、「熊本の心」として、届けられたらと思います。